

## 入学から修了までのサポート

様々なバックグラウンドを持つ大学院生の修学を支援するため、大学院入学から修了後の進路選択まで幅広くサポートする体制を整備しています。

### 入試における特別選抜の実施

社会人、外国人留学生を対象に、職務経験や修学歴に応じた特別選抜を実施します。入学時期は4月入学以外に10月入学も可能です。

### 研究環境支援・奨学金

- 授業料免除・徴収猶予制度
- TA(授業補助)による将来教員・研究者になるためのトレーニング機会の提供と、経済的支援
- RA(研究・実験補助)による研究遂行能力の育成と、経済的支援\*
- 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING事業)\*
- 博士前期課程(修士課程)からの進学対象者の奨学金\*

\*博士後期課程のみ対象



### キャリア支援

進学や修了後のキャリア形成をサポートする体制を整備しています。

- キャリア面談・汎用的スキルの獲得を目的としたセミナー
- 多様なインターンシップ(長期、短期、単位認定有)
- 企業とのマッチングイベント\*
- 企業訪問・研究所見学\*

\*博士後期課程のみ対象

### 外国人留学生向け

#### 在籍管理に関する支援

入学予定の外国人留学生の在留資格認定手続きを本学が代理申請し、入国前の在外公館での留学ビザ申請を指導します。

#### 学修に関する支援・指導

- 英語版の授業科目シラバス及び新潟大学学務情報システムの利用
- 本学国際交流センターの日本語学習科目の履修

### 社会人向け

#### 長期履修制度による柔軟な修業年限設定

標準修業年限を越えて一定の期間に渡り、計画的に授業を履修し、修了することが可能です。修士課程の場合は、通常、「2年」の修業年限を「3年」又は「4年」に延長することができます。(授業料は2年分)

\*現に職業を有している方等が対象です。

#### 授業方法等の配慮

夜間の開講、休業期間中の集中講義や研究指導、メディアツールを利用した遠隔授業等、職業を有している方が離職することなく、修学可能となるような履修方法や授業時間の設定が可能。

\*社会人の方を対象とします。(大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の運用によるもの)



## 入試情報

募集回数	4月入学対象 年2回(予定) / 10月入学対象 年1回(予定)	
選抜区分	一般選抜	「一般枠試験」と大学学部学科等の成績優秀者を対象とした「学業成績優秀者特別枠試験」を実施しています(一部の分野を除く)。
	特別選抜	職務経験を重視した「社会人特別選抜」、修学歴に対応した「外国人留学生特別選抜」を実施し、積極的な受け入れを行っています。
選抜方法	書類審査及び口頭試問*(一部の分野では筆記試験を実施)	
入学時期	4月・10月	

\*一部の専攻・プログラム・分野ではオンラインにより試験を実施しており、社会人や渡日前の留学生の受験に対して配慮を行っています。

## 入学料・授業料

入学料 282,000円 / 授業料 525,800円(年額)

\*入学料及び授業料は予定額です。\*在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。



<お問い合わせ>

総合学術研究科設置準備室

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

電話：025-262-7327 メール：gs-sougou@adm.niigata-u.ac.jp

2025.12



総合知を備えて新たな価値を創出

# 新潟大学大学院 総合学術研究科(修士課程)

2026年  
4月開設

新潟大学は、現代社会文化研究科と自然科学研究科を統合し、2026年4月に総合学術研究科を新たに開設します。

### 複雑化する社会課題を解決できる 人材養成が求められている時代

#### グローバル課題



- 気候変動、温暖化問題
- 食料、エネルギー問題
- 安全保障問題
- SDGsの推進
- 急速なデジタル化への対応

#### 日本の社会課題



- 超高齢化問題
- 地方から都市への人口流出
- 産業競争力の低下
- 労働生産人口の減少
- 地域コミュニティの弱体化

#### 就職後の不安



- スキル不足への不安
- 知識不足への不安
- キャリアパスへの不安
- AI普及に伴う将来への不安
- グローバル対応への不安

社会課題は複雑さを増しており、企業、団体、行政機関、教育・研究機関などのような場においても特定分野の専門知識のみでの対応は困難です。科学技術を人間社会に調和的に社会実装し、社会で新たな価値を創造し、高めていくためには、俯瞰的な視野で物事をとらえ、分野横断的、多様な「知」の集結、「総合知」が必要とされています。

#### 総合知とは

内閣府において、「多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知」の活力を生むこと」と定義されています。すなわち、所属組織や専門領域を超えた様々な知の融合により、イノベーションの創出や社会実装に向けた手段を見出し、社会課題の解決を図ることにつながります。

人文社会科学の「知」と自然科学の「知」を結合させ、  
単一の専門知では解決できない課題を解決する  
総合知を創出

#### 現代社会文化 研究科

博士前期課程 入学定員60人  
新たな技術革新を  
社会の変革に繋げる  
人文社会科学の

知

#### 自然科学 研究科

博士前期課程 入学定員507人  
技術開発により新た  
なイノベーションを  
生み出す自然科学の

知

文理の「知」を結集

## 総合学術研究科

修士課程 入学定員567人

\*博士後期課程は2028年4月に  
設置を予定

新潟大学

# 総合学術研究科の概要 —総合知を創出する場で活躍できる人材育成を目指した大学院—

総合学術研究科は、人文社会科学専攻と自然科学専攻の2専攻のもとで、教育課程を学位プログラムにより編成します。学位プログラムは、基幹学問分野に根差す「専門深化型学位プログラム」と新潟大学の強みを生かし、社会やグローバルニーズに対応した「新潟学際型学位プログラム」に大別して編成します。



## 育成する人材

単一の専門知だけでは解決できない人間や社会の課題を解決できる人材



## 修得を目指す資質・能力

学際的知識と複数の研究方法論、トランスファラブルスキルと専門分野固有の能力を統合し、単一の学問分野では不可能であった理論や方法で課題解決を行う能力

# 学位プログラム一覧

学位プログラム種別	学位プログラム名	取得できる学位の専攻分野	
人文社会科学専攻 (入学定員60人)	専門深化型学位プログラム	人間文化科学プログラム	文学、学術
		現代社会科学プログラム	法学、行政学、経済学、経営学、学術
	新潟学際型学位プログラム(文理融合型)	アニメ・映像資源科学プログラム	文学、工学、学術
		日本酒学プログラム	経営学、農学、学術
自然科学専攻 (入学定員507人)	新潟学際型学位プログラム	情報社会デザイン科学プログラム	工学、学術
		カーボンニュートラル融合科学プログラム	工学、学術
		フィールド科学プログラム	理学、農学、学術
	専門深化型学位プログラム	ひと脳・健康科学プログラム	理学、学術
		物質創成・基礎科学プログラム	理学、工学、学術
		システム創成科学プログラム	工学、学術
	生命環境・食料科学プログラム	理学、工学、農学、学術	

# 学位プログラム概要

## 人文社会科学専攻

### 専門深化型



#### 人間文化科学

哲学、史学、文学、心理学、メディア学、芸術実践、情報社会科学、生活健康行動科学について学修・研究します。「公認心理師」、「臨床心理士」、「日本語教師」の養成を目的とする領域を含みます。



#### 現代社会科学

法学、政治学、行政学、経済学、経営学などの社会科学について、他の専門分野や実務家と密接な関連を保ちながら学修・研究します。

### 新潟学際型



#### アニメ・映像資源科学

新潟大学が持つアニメ等のアーカイブから出発して、アニメや地域のさまざまな映像資料について、その文化や社会とのかかわり、画像処理と保存、データベース化などについて領域横断的に学修・研究します。



#### 日本酒学

日本酒という対象を共通の軸として、自らの専門領域から、日本酒の原料、生産、販売、消費、文化、歴史、健康に至るまでの幅広い領域を俯瞰的に学修・研究します。

## 自然科学専攻

### 専門深化型



#### 物質創成・基礎科学

物質科学の基礎分野である物理・宇宙科学、基礎化学、数理学、新物質・新素材の開発と実装を目指す材料科学、応用化学を学修・研究します。



#### 情報社会デザイン科学

情報技術を活用して社会課題を解決するためのデザイン思考やデータサイエンス、ICTスキル、デジタルアーカイブ、コミュニケーションデザインなど情報社会デザイン科学を学修・研究します。



#### カーボンニュートラル融合科学

創エネルギー・省エネルギー・蓄エネルギーに関連する個別科学技術に加え、スマートグリッドに代表されるエネルギーマネジメントやエネルギー輸送など、カーボンニュートラル融合科学を学修・研究します。



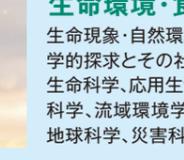
#### システム創成科学

スマート社会を構築するための基盤となる先端技術の開発と社会実装を行うため、機械工学、電気、電子・情報通信工学、人間情報学を学修・研究します。



#### フィールド科学

さまざまなフィールドで得たデータを分析・解析する「フィールド科学」を通じて、自然現象の科学的理解や自然環境と人間社会の共生を目指し学修・研究します。



#### 生命環境・食料科学

生命現象・自然環境及び食料に関する科学的探求とその社会実装を目指す、基礎生命科学、応用生命・食品科学、生物資源科学、流域環境学、都市・環境デザイン、地球科学、災害科学を学修・研究します。

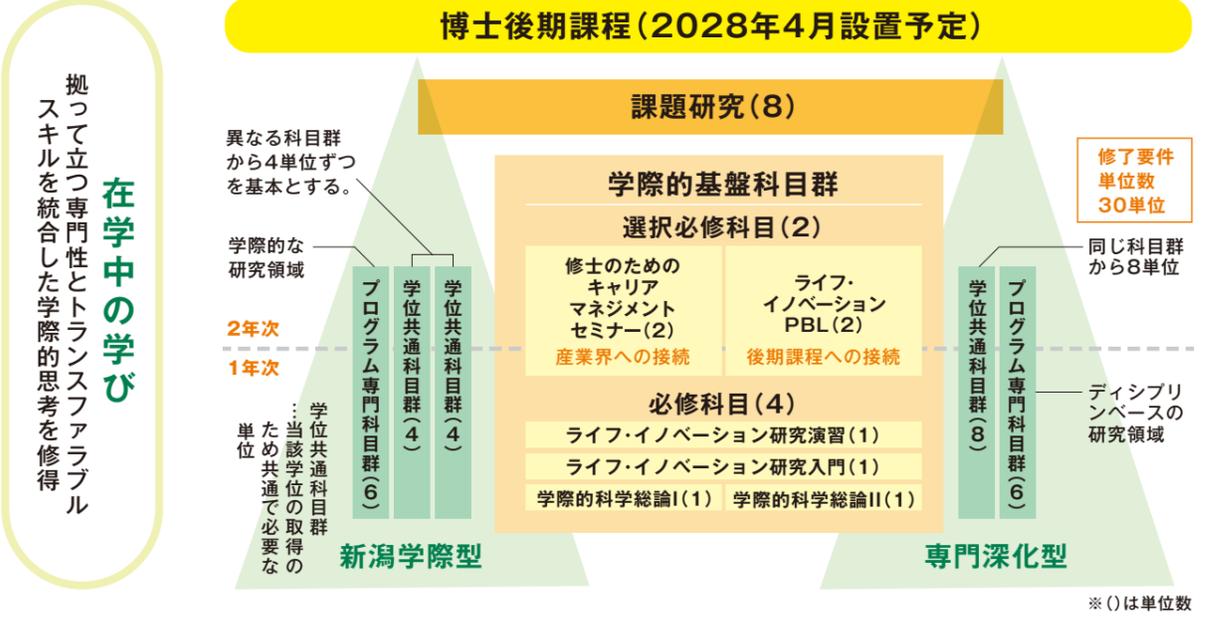
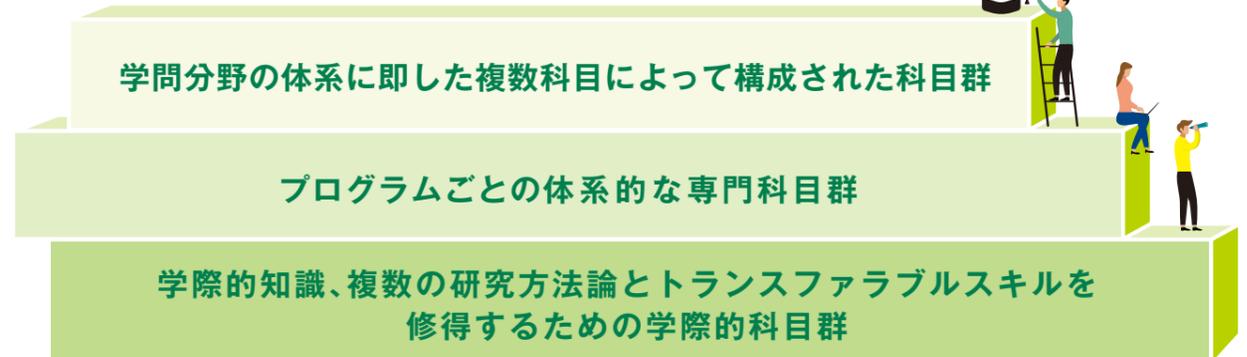


#### ひと脳・健康科学

人間の脳と健康に関する科学的知識について、脳神経科学及び健康科学を基盤に、自然科学の観点から高齢化社会特有の社会課題の解決を目指し、ひと脳・健康科学を学修・研究します。

# 教育課程の特色 —幅広さと深さを両立する柔軟な教育課程—

明確な教育目標を設定した学位プログラムの下、分野共同で学ぶ研究科共通の科目を配置するなど、「学際的な幅広さ」と「確かな専門性の深さ」を両立する教育課程を編成します。



在学中の学び

拋って立つ専門性とトランスファラブルスキルを統合した学際的思考を修得